

天彦産業

特殊鋼アジアで拡販

バンコク事務所、現法に格上げ

多品種少量供給で差別化

天彦産業（大阪市住之江区、樋口友夫社長、06・6613・2361）は、特殊鋼の販売・加工で海外体制を強化する。10月に中国・上海市に現地法人を設立したのに続き、タイ・バンコク市の駐在事務所を08年3月めどに現地法人へ格上げする。中国やタイに製造拠点を置く日系メーカーと地元企業向けに、特殊鋼販売を増やすのが狙い。07年3月期に約5億円の外売上高を、2010年3月期は4倍増の約20億円を目指す。

中国の現地法人のオフ。人員は3人で、近日イの駐在事務所は面積がイスは面積が約75平方。中に4人に増強する。タ約75平方で、現在3人

体制。08年3月までに2人の現地スタッフを雇用し、体制を強化する。またバンコク市内に延べ床面積170平方程度程度の倉庫も賃借し、今まで特殊鋼に関するコンサルティングだけにとどまっていた業務を販売・加工へ

拡大する。

タイ、中国の拠点でそれぞれ約10社の提携工場を持ち、加工コストを削減。とくに加工コストの安い中国では、加工した製品を日本やタイで販売する方法も活用している。特殊鋼の現地調達も行い、タイ・中国・日本のネットワークを有効活用して取引先へコスト削減の最善策を提案する。

特殊鋼は現地で自動車部品や農業機械などに使われる。日系企業が多数進出するタイや中国には特殊鋼に詳しい業者が少なく、品ぞろえや品質管理のしっかりした取引先

を必要とする日系メーカーが多い。現地で手が届いていない多品種少量での供給をいち早く実現して、差別化を図る。